

問1 日本の各地方の面積と人口の関係を分析したとき、関東地方が示す統計的な特徴とその背景について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2016年 高知公立入試 類似）

1. 全国で最も広い平野を有しており面積も最大級であるが、農業が盛んなため人口の流入が抑制されている。
2. 面積は全国の1割にも満たないほど狭いものの、政治や経済の機能が集中しているため、人口が突出して多く密度が極めて高い。
3. 面積と人口の双方が全国の中程度の数値を示しており、地形や気候のバランスが良いため、人口の増減が最も安定している。
4. 面積は近畿地方より狭いが、古くからの伝統産業が発達しているため、中国・四国地方を上回る人口が均等に分散している。

問2 地形図上で地点間の方位を正しく読み取る際の手順と、奈良市の地形図における実際の地理的關係について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。なお、地図の上方は北であるものとします。（2019年 富山県公立入試 類似）

1. 地図の上方を北の基準に据え、若草山から見て左側に位置する奈良公園を西寄りの方位として読み取る
2. 地図の右端を北の基準に据え、若草山から見て左側に位置する奈良公園を北寄りの方位として読み取る
3. 方位記号がない場合は常に下方を北とし、若草山から見て上側に位置する奈良公園を南側の方位として読み取る
4. 磁石が指す北（磁北）と地図の北は完全に一致するため、若草山から見て右側に位置する奈良公園を東側の方位として読み取る

問3 地形図を用いて、ある山の山頂と麓の駅の間の高差を算出する方法について、正しく説明しているものを選びなさい。（2021年 山口公立入試 類似）

1. 山頂にある三角点の数値から、麓の地点を通る等高線や標高点の数値を差し引く。
2. 地形図に記された方位記号の数値をもとに、山頂と麓の直線距離を計算して標高に換算する。
3. 2万5千分の1の地形図において、山頂から麓までにある等高線のうち、太い線（計曲線）の本数を数えて5mを掛ける。
4. 等高線の間隔が最も狭くなっている場所の数値を読み取り、それを山頂の標高に加える。

問4 北海道の北東に位置する、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の島々からなる地域について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 島根公立入試 類似）

1. 日本固有の領土であるが、現在は他国によって不法に占拠されている。
2. 歴史的に他国の領土であった時期があるため、現在は領有権を放棄している。
3. 日本が領有権を主張しているが、住民のほとんどが日本人である。
4. サンフランシスコ平和条約において、日本が正式に他国へ割譲した地域である。

問5 歯舞群島、国後島、択捉島とともに日本の固有の領土である北方領土を構成する島の一つで、江戸時代後期に近藤重蔵らが北方調査のために上陸した歴史を持ち、現在はロシア連邦によって法的根拠なく占拠されている島を選びなさい。（2016年 北海道公立入試 類似）

1. 色丹島
2. 択捉島
3. 国後島
4. 歯舞群島

問6 身近な地域の調査を計画し、実施する際の標準的な手順として最も適切なものはどれですか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 調査のテーマを決め、結果を予想する仮説を立ててから、野外調査を行い、得られた情報を考察してまとめる。
2. まず野外調査を行って地域の現状を把握し、その結果に基づいて調査テーマを決定し、最後に仮説を立てる。
3. 調査のテーマを決めた後、すぐに野外調査を行い、調査が終わってから結果を予想するための仮説を立てる。
4. あらかじめ結果を考察してまとめを作成し、その内容が正しいかどうかを確認するためにテーマを決めて野外調査に行く。

問7 北海道の北東に位置する北方領土の中で、知床半島と海を挟んで向き合う位置にあり、択捉島に次いで2番目に面積が大きい島はどれですか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 国後島
2. 択捉島
3. 色丹島
4. 歯舞群島

問8 日本の人口構成の推移において、1950年頃は底辺が広く頂上が狭い「富士山型」の形状をしていましたが、2010年頃には「つぼ型」へと大きく変化しました。この人口構成の変化の内容として最も適切な説明を選びなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 出生率の低下にともない、20歳未満の人口割合が継続的に減少している。
2. 乳児死亡率の上昇にともない、若年層の人口割合が急激に減少している。
3. 平均寿命が短くなったことにより、高齢層の人口割合が減少している。
4. 出生率が大幅に上昇したことにより、ピラミッドの底部の幅が拡大している。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 面積は全国の1割にも満たないほど狭いものの、政治や経済の機能が集中しているため、人口が突出して多く密度が極めて高い。	関東地方は関東平野という日本最大の平野を含んでいますが、地方全体の面積としては日本の約9%程度に過ぎません。しかし、東京を中心とする首都圏には、政治・経済・文化の諸機能が高度に集中しており、日本の全人口の約3分の1にあたる約4,300万人以上が居住しています。このように「面積が狭い一方で人口が極端に多い」という状況は、他の地方と比較して突出した人口密度の高さをもたらしています。
問2	答え 1 地図の上方を北の基準に据え、若草山から見て左側に位置する奈良公園を西寄りの方位として読み取る	地形図における方位の読み取りでは、まず図の上方が北であることを確認します。基準となる地点（若草山）に方位盤を重ねるイメージで考えると、そこから見て左（西）や左上（北西）に位置する地点（奈良公園）の方位を正確に特定することができます。なお、磁北は真北からわずかにずれるため、厳密な読解では注意が必要ですが、基本方位の決定には図の上方を基準とします。
問3	答え 1 山頂にある三角点の数値から、麓の地点を通る等高線や標高点の数値を差し引く。	2地点間の標高差を求めるには、それぞれの地点の標高を特定する必要があります。地形図では、位置と高さの基準となる三角点、特定の地点の高さを示す標高点、そして標高の等しい地点を結んだ等高線の数値を読み取ることで、現地の高さを知ることができます。太い線である計曲線は、2万5千分の1の地形図では50mごとに引かれているため、本数に5mを掛ける計算は誤りです。
問4	答え 1 日本固有の領土であるが、現在は他国によって不法に占拠されている。	択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島からなる北方領土は、一度も他国の領土になったことがない日本固有の領土です。しかし、第二次世界大戦の終結直前に当時のソ連が侵攻し、現在もその後継国家であるロシアによって不法に占拠され続けています。日本政府はこれらの島々の返還を求めて外交交渉を続けています。
問5	答え 1 色丹島	北方領土は、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の四島から構成されます。江戸時代後期、ロシアの南下政策を警戒した幕府は近藤重蔵や最上徳内らを派遣して北方調査を行わせました。第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連（現在のロシア連邦）によって占領され、サンフランシスコ平和条約においても日本はこれら四島を放棄していないと主張していますが、現在も返還は実現していません。
問6	答え 1 調査のテーマを決め、結果を予想する仮説を立ててから、野外調査を行い、得られた情報を考察してまとめる。	地域調査を論理的に進めるためには、まず「何を明らかにするか」というテーマ設定が必要です。次に、既存の資料などから結果を予測する「仮説」を立てることで、調査すべきポイントが明確になります。その上で実際の「野外調査（実地調査）」を行い、最後に得られたデータと仮説を照らし合わせて「考察・まとめ」を行うのが正しい順序です。
問7	答え 1 国後島	北方領土は北海道の北東に位置する日本固有の領土です。そのうち国後島は知床半島の延長線上に位置し、択捉島に次いで大きな面積を持ちます。最も北にあり面積最大の島が択捉島、根室半島の沖合に位置するのが歯舞群島と色丹島です。
問8	答え 1 出生率の低下にともない、20歳未満の人口割合が継続的に減少している。	日本では戦後の「多産多死」から「少産少死」へと社会構造が変化しました。1950年代の統計では若年層が多いピラミッド型（富士山型）でしたが、その後の出生率の低下により、20歳未満の人口割合が減少し、底部が狭いつぼ型の人口ピラミッドへと変化しました。これが現在の少子高齢化を象徴する形となっています。